

ふくみね

令和元年5月10日
高田小学校便り
No. 2



学校経営方針

1 学校教育目標

『夢に向かって、自ら学び、自分らしく真っ直ぐ生きる高田健児の育成』

— 正をたのしみ、正を踏む教育 —

「正をたのしみ」とは、正しいことを楽しむ、つまり正しいことの心地良さを味わうということでしょう。「正を踏む」とは、正しい道を踏む、つまり正しい道を歩いていくということでしょう。

正をたのしみ、正を踏むことが、夢を実現していく生き方につながる、と考えました。

2 目指す学校像

夢を実現する学びのある学校 … 「確かな学力」の習得に責任を持つ学校

夢を持つ育ちのある学校 … 何よりも自分の夢に向かう人を育てる学校

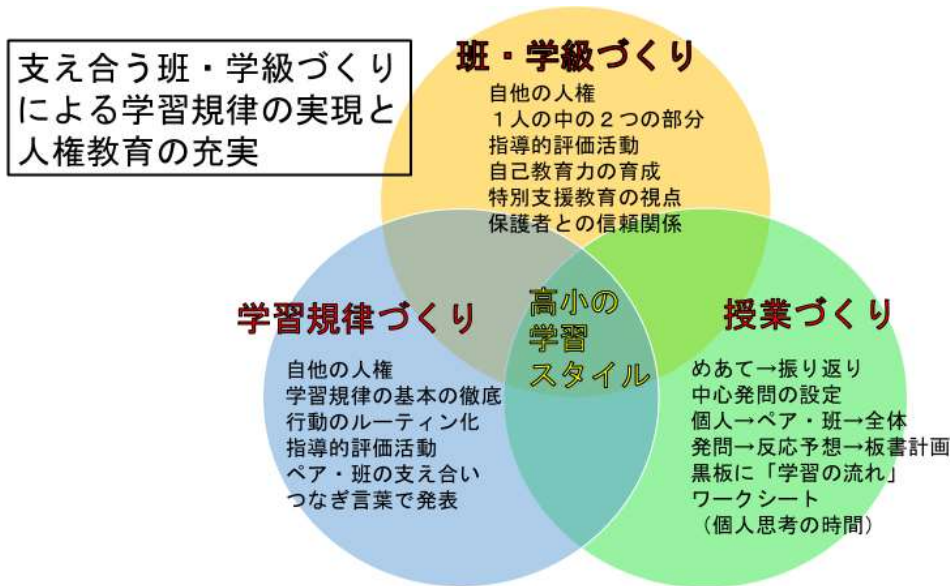
夢を地域と共有する学校 … 保護者と地域の真ん中にある学校

学校や地域は、夢を実現していくことを支援して、自分の幸せを築くことのできる子供を育てる所だと考えました。

3 学びの研究テーマ

「支え合う班・学級づくりによる学習規律の実現と人権教育の充実」

今年度の校内研修では、高小の学習スタイルを確立していくため、自他の人権尊重を第一とする「班・学級づくり」「学習規律づくり」「授業づくり」を3つの柱として、研究を積み重ねていきます。



「班・学級づくり」の円の中にある『1人の中の2つの部分』について説明します。

「荒れる子」「荒れない子」が、別々に2人存在しているのではない。「荒れる」「荒れない」は、1人の子供の中の「2つの部分」である。同じく「できる」「できない」は、1人の子供の中の「2つの部分」である。「荒れる」子の中に「荒れない」部分を、「できない」子の中に「できる」部分を見付ける力が、私達には求められている。

これは、今年度の校内研修で講師をお願いしている春川政信氏の言葉です。上の図も、そのほとんどが春川氏の理論に基づいています。

以上の学校経営方針を掲げ、今年度の高小は、スマホやゲームの楽しさ以上に夢を追い掛けることの楽しさを、子供たちに体感してもらいたいと考えています。

高田小学校のなかまで



第1学年 「まんまる」
～なかまとつながり、まんまるえがおで～



第2学年 「2年1組の花さき山」に
心の花をさかせよう



第3学年 「わかぼ」
㊦になってなかよく㊧んがえて行動㊨っちりメリハリ



第4学年 「のびのび」
～人にやさしく、自分にもやさしく～

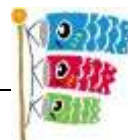


第5学年 「ぴいす」
学び合い 助け合い 笑顔でぴいす



第6学年 「根っこ」
～高小の縁の下の力持ち～

【5月の行事】



7日（火）体育大会練習開始	21日（火）体育大会予行演習
9日（木）内科健診（4～6年）	24日（金）体育大会準備
10日（金）お話玉手箱	25日（土）体育大会 9:00～
12日（日）再生資源回収（19日予備日）	27日（月）代休
16日（木）TCC	28日（火）お弁当給食
20日（月）学校徴収金振替日	30日（木）耳鼻科検診（全学年）



お知らせ

※5月28日（火）：弁当持参（体育大会実施日にかかわらず、この日は弁当が必要です！）
詳しくは、4月19日配布の体育大会順延の場合についてのプリントをご覧ください。